



自分で考え、確かめる深い学び

今年の夏は、フランスでオリンピックが行われました。今回は、オリンピックではなく、昔から日本人に人気があるフランス人の話をします。

ジャン・アンリ・ファールという人です。一生懸命に勉強をして小学校の先生になりました。91歳で亡くなるまで昆虫のことを研究し続けました。日本でも、100年ほど前に「昆虫記」が紹介され、とても人気になりました。

ファールが、子どものころの話をします。ある晴れた日にファールは太陽をまぶしいと感じ、「不思議だな」と思いました。「ぼくは、太陽をどこで見ているのだろうか？」と。ファールは、口をふさぎました。太陽は見えています。耳をふさいでも見えています。目を閉じると見えなくなりました。何度やっても同じです。ファールはこの大発見を家族に話しました。すると、親や兄弟は笑いました。「ばかだなあ。そんなの当たり前じゃないか。」ファールのおばあさんだけは、この素晴らしい発見を認めてくれました。

ファールは、子どものときからずっと、自分で考え、観察や実験をして確かめる態度が身に付いていました。ファールは生き物が大好きだったので、学校の先生になってからもずっと、虫のことを研究し続け、誰にもできなかった発見をしました。

校長先生も生き物が好きで、子どものころにファール昆虫記を読みました。笠原小学校のビオトープで生き物をつかまえているみんなの中から、ファールのようなすごい人が育つことを楽しみにしています。

笠原っ子も、自分で考え、確かめることを大切にしてほしいです。先生方には、ファールのおばあさんのように、それが当たり前の発見であっても、驚いて認めてあげてほしいです。タブレットやスマホで調べてすぐに答えを見つけるやり方は浅い学びです。自分で考え、自分で確かめる深い学びを身に付けて、ファールのように学べたら素晴らしいですね。自分で確かめて、自分で学ぶと、勉強が楽しくなります。では、2学期から新しい学びを始めていきましょう。(2学期始業式 校長の話)

2学期始業式 児童代表の言葉

【 2年1組 八木 亮翔 】

ぼくが2がっきにがんばりたいことは2つあります。

1つ目はさんすうです。100くらいのけいさんがにがてなので夏休みのあいだにたくさんふくしゅうをしてとくいになって、2がっきでならうもっと大きなけいさんもとくいになりたいです。

2つ目はこくごです。音読がにがてなので本読みをいっぱいしてうまく音読ができるようにならうたいです。

2年1組のがっきゅうもくひょうは「にこにこ きらきら 元気あふれる2年生」です。これからもにこにこ元気に生活してたのしい2学期にしたいです。

【 4年1組 桑原 一樹 】

ぼくが2学期にがんばりたいことは、二つあります。

一つ目は漢字をたくさん覚えることです。4年生は、6学年の中で覚える漢字が一番多いので、全部覚えられるようにしたいです。そのために、書き取りや、けテぶれをして、漢字テストや国語のテストをがんばって、百点を取れるようにならうたいです。

二つ目は、都道府県を覚えることです。今は「東北地方（北海道も入れる）」「関東地方」「中部地方」「九州地方」を覚えられています。だから、2学期は「近畿地方」「中国・四国地方」を覚えられようにならうたいです。

4年生の学年目標は「かがやけ チャレンジ 4年生」です。この学年目標にかいてあるように、たくさんチャレンジをして、かがやけるようにならうたいです。

【 6年1組 林 心子 】

私が2学期にがんばりたいことは三つあります。

一つ目は、体育です。体育はけがの危険がある授業です。先生の話をよく聞き、考えて行動することが大切になります。みんなで声をかけ合い、助け合いながら楽しく安全に体を動かしたいです。

二つ目は、算数です。1学期の算数では、問題をあまり考えずに友達に聞くことがありました。2学期の算数では、まず自分で分かる問題を解いて、考えても考えても分からない時に友達に聞くようにしたいです。考える力をつけて、分からない子に教えられようにならうたいです。

三つ目は、運動会です。小学校生活で最後の運動会なので家族に自分のかっこよく走ったり、踊ったりするところを見せたいです。6年生は仕事が多くて大変ですが、最高の運動会にしたいです。

6年生の学年目標は「未来へ突き進め！Perfect School Leaders」です。笠原小のリーダーとして32人みんなで協力して頑張っていきたいです。みんなが笑顔で過ごせる笠原小にしていきたいです。